

●2025年度精密工学会春季大会 実行委員会企画シンポジウムのご案内【大会第3日開催】

趣味と精密工学

そもそも精密工学のもととなった精密機械はかつて趣味の世界で中心的な位置を占めてきた。多くの趣味の機器、媒体がマルチメディアとなりデジタル化した。いまだに精密機械は、趣味の世界において重要な要素であり続けている。そこで、趣味の世界における精密機械をもう一度その歴史から最先端までを見直すことによって、皆様にワクワクしてもらおうと同時に、精密工学の今後を考える一端になればと思いシンポジウムを企画する。

企画 2025年度春季大会実行委員会

開催日時 2025年 3月 19日 (水) 13:00 ~ 19:40

会場 千葉工業大学 津田沼キャンパス 6号館4階 647室

※※大会参加の方はどなたでも参加できます。前半は無料、後半のワインの講演以降は有料申込が必要です

プログラム

司会 千葉工業大学 菅 洋志, 瀧野 日出雄

時間	講演題目	講演内容	講師
13:00~13:10	実行委員長挨拶と講演会趣旨 (千葉工業大学 松井 伸介)		
13:10~13:55	「創造的な仕事で世界を目指す」 オリンピックのモノづくり	Rio2016・Tokyo2020と2大会連続でオリンピック・パラリンピックに採用された卓球台。採用から開発までのプロセス、それらの活動を通して再認識したモノづくりの原点やこだわりを紹介	株式会社三英 三浦 慎
14:00~14:45	音楽と精密な音とオーディオ	そもそも音とは何なのか？にはじまり、音楽公演への支援、記録として録音と映像を通じて学んだことなど。それと並行して進めてきたオーディオ遍歴、私なりのスピーカー、Simpleなアンプと回路など現在に至る再生機器に対する考え方を述べます。現物展示と音出し、CD抽選あり。	小貫 哲治
14:50~15:20	試聴と休憩		
15:20~16:05	スチルカメラと人間の感性	精密機器としてのスチルカメラは、機能性能以外に「視覚」、「聴覚」、「触覚」と密接に呼应して高揚感、満足感、所有感をもたらす、結果として「名機」や「愛機」を生み出している。この現象を「感性工学」に基づいて解説する。	(元)株式会社ニコン 後藤 哲朗
16:10~16:55	鉄道模型でものづくりを楽しむ	通勤、通学、行楽と身近な乗り物である鉄道。鉄道趣味の中で模型に焦点を当て「車両が走る仕組み」や「ジオラマ作り」など、ものづくりの楽しさをご紹介します。毎朝ダイヤ通りの通勤電車。模型もダイヤで走れるか！?	オグラ宝石精機工業株式会社 松本 圭史
以降は、60名限定、参加費要 (税込3,000円)			
17:20~18:05	ワインの精密な味覚的分析	機械的センサーを使用せず人間の感覚(嗅覚・味覚)を高めワインの風味の精密な分析を行います。実際に体験していただき、科学(客観的法則性の認識)と美学(価値判断)の境界領域に関する問題にも迫ります。	平野弥 平野 光昭
18:05~19:40	ワイン試飲・懇親会		

大会実行委員会が、大会のスローガンの一環として企画しました。前半の講演会は無料です、内容はバラエティに富みますが各界に精通した方の講演となります。また、休憩時間には音源の試聴もあります。後半のワインの講演以降は場所を移し、20階からの眺望を楽しみながら本格的なグラスを使った試飲・講演会+懇親会となります。また、後半は準備の都合上人数制限があり、有料となります。

※※プログラムは変更となる場合がございます。何卒ご了承のほどお願い申し上げます。